

《平野の地形》

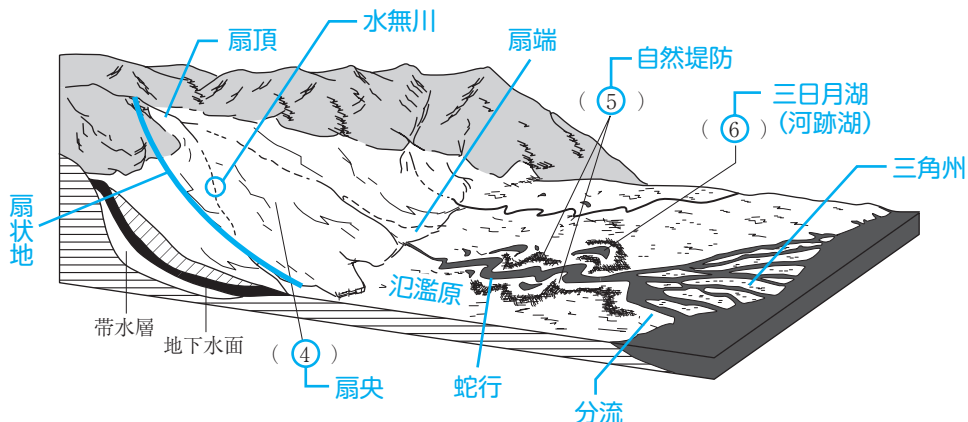
平野の地形に関する次の文章を読み、模式図を見て、下記の問に答えよ。但し、文章中の空欄の番号と、模式図中の空欄の番号は一致している。(25 点)

平野は（ 1 ）平野と堆積平野に大別される。（ 1 ）平野は古い地質時代に形成された大規模なものが多いが、堆積平野は比較的新しい地質時代に形成された小規模なものが多い。日本の平野はすべて堆積平野で、更新世に形成された台地と、現在も河川などによって形成されつつある(a)沖積平野などに大別される。台地のうち、河川沿いで階段状になった地形を（ 2 ）と呼び、海岸沿いで階段状になった地形を（ 3 ）と呼んでいる。

沖積平野では、扇状地、氾濫原などの地形が見られる。そのうち、山麓に発達しやすい扇状地では、河川の流速が急に減少するため、砂礫が堆積しやすく、（ 4 ）部付近では河川は伏流し、地表ではしばしば水無川となる。沖積平野の大部分を占める氾濫原では、微高地の（ 5 ）や、(b)後背湿地が広がり、河川は蛇行を繰り返すために、かつての河道を示す（ 6 ）が見られることが多い。三角州は河口の砂泥が堆積して形成され、下の模式図のように、河川の流れは分流することが多い。

また、(c)扇状地や氾濫原ではしばしば天井川が形成されて洪水の危険が大きい。三角州では地下水の汲み上げなどによる地盤沈下や、台風時などに生じる、海面が上昇する現象である（ 7 ）などの災害を受けやすい。

資料判読のポイント



問1 文章中の（ 1 ）～（ 7 ）に最も適する語句を答えよ。(14 点)

問2 文章中の下線部(a)について、沖積平野の典型的な例として適当でないものを、次の①～⑥から2つ選び、番号を記せ。(4 点)

- ① 大阪平野 ② 関東平野 ③ 庄内平野 ④ 濃尾平野 ⑤ 津軽平野
⑥ 十勝平野

問3 文章中の下線部(b)について、日本の農業における後背湿地の主な土地利用を答えよ。

(2 点)

問4 文章中の下線部(c)について、天井川の成因とその特徴について、40字以内で説明せよ。

(5点)

ポイント

平野の地形では、氾濫原や扇状地・三角州などの特徴と各地形の違いについて押さえておきたい。また、地形の成因も理解していけば、おのずと問3のような産業との関連を問う問題にも答えられるようになる。丸暗記ではなく、理屈づけて理解していきたい単元である。

解答

問1 1 侵食 2 河岸段丘 3 海岸段丘 4 扇央 5 自然堤防
6 三日月湖(河跡湖) 7 高潮 問2 ②・⑥(順不同) 問3 水田(田)

問4 人工の堤防が築かれ、河床に土砂が堆積して形成され、河床が周囲の平地より高くなる。
(40字)

解法

問4

解答の組立て

[論述の型 成因・特徴]

<天井川の成因と特徴>

●天井川の特徴 …… 河床が周囲の平地より高い



自然にはそうならない



⚠ 人工的な堤防の存在が必要

……堤防により、河床に土砂が堆積する = 成因



堤防は、氾濫しやすい河川に建設される

……侵食作用が強く、土砂の供給が多い

解説

問1 1～3 日本では、**侵食平野**の典型例はなく、ほぼすべての平野が**堆積平野**である。このうち、更新世(洪積世; 約260万年前～約1万年前)に形成された低平な土地が隆起したものが**台地**(**洪積台地**ともいわれる)、完新世(沖積世; 約1万年前～現在)に形成された低平な土地が**沖積平野**である。台地には、**河岸段丘**や**海岸段丘**などが含まれる。河岸段丘は、河川の流域の土地が隆起などにより河床がさらに掘り下げられ、今までの谷底が台地になって形成された地形であり、海岸段丘は、海食崖を伴った海食台が離水して形成された地形である。

❗補足

日本では、小規模な平野が多いため、河川は急流となりやすい。

✓ここもチェック

谷底平野は、河川の侵食で谷底が広がり、上流から運ばれた土砂が堆積して形成される。

4 扇状地のうち中央部は**扇央**と

呼ばれ、粒子のやや大きな砂礫が堆積するため、河川は伏流しやすく、地表ではしばしば水無川（涸れ川）となる。このため扇央は、桑畑や果樹園など乏水地特有の土地利用が卓越する。

5・6 **自然堤防**は、洪水時に河川が運んできた土砂が河道の両

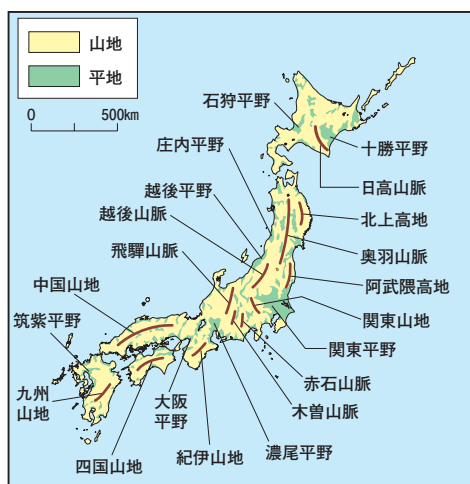
側に堆積してできた微高地で、

集落が立地したり道路や畑などに利用されたりする。また、**氾濫原**では河川が蛇行しやすくなる。かつての河道変遷を示すものとして、旧流路が取り残されて形成された**三日月湖**（河跡湖）が見られる。

7 河口に泥や砂などが堆積して形成される**三角州**は、軟弱地盤で、低平であるため台風襲来時などには**高潮**の被害を受けやすい。また、地下水位が高く地下水が豊富な三角州では、地下水の過剰な汲み上げなどによって、しばしば地盤沈下が生じる。

問2 **関東平野・十勝平野**は、主に火山性の**台地**で形成されている。

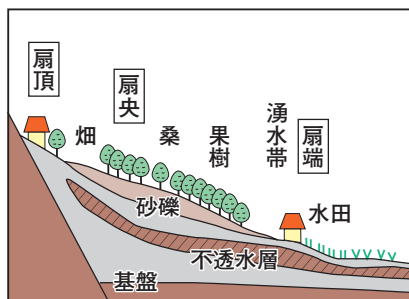
▼日本の山地・平野



問3 氾濫原の**後背湿地**は、洪水時に水が溢れることによって泥質の湿地となっており、日本では主に**水田**（田）に利用される。

問4 **天井川**は、河床が河川の周囲の平地よりも高くなった状態の河川のことである。天井川の形成には、人工の堤防を築くという人為的作用が必要である。とくに、上流部での土砂の供給の多い河川が天井川へと発達することが多く、中国の黄河や滋賀県の百瀬川（ももせ）などが有名である。

▼扇状地の土地利用



❗補足

扇頂や扇端は水に恵まれ、とくに平地が広がる扇端では水田や集落などが立地することが多い。

❗補足

天井川では、河床の下にトンネルがつけられ、道路が川をくぐる例が見られる。